部隊、小場部隊、軍見動治験姿部隊、威田や兵中隊およか反町少兵中次原中安照方面に於ける江南職滅作職に於て武功故跡なりし栗瀬

心室せられたり

あるひは職務の議梁下に言次で造航を凝滞なく属理し針谷部家など 作業に於て岳州、石首、被正、宣響などにおいてあるひは豪雨の中に

山の出身を町中尉は群

町発作氏の長男で勝山田墨卒業後

を有する影響による敵を突破し敵第目廿一

師に意大な退害を埋へて

時局の現政階を馴抉、派代職争の

図職隊ならびに基題の比別鬼神も

游々たる職果と一緒に

フワーマキン間におけるわが選回

ード、マーシャル諸島神運羅印泽

に區別し

認識せねばな

|通一覧に第中し、一機一般の増産

して翻解されていに年内職事を一なる顧問の意之表す

め深思

敵艦艇百世五

血祭

來以日五十 果戰合綜の

授師

待断義雄

間に残する正しい協議の把握を要

で贈る豪雨中未知の知形と歓歌の不明とを克服しあるひは奇響に

大津部隊及町步兵中隊(長陸軍

大尉が田正雄(近極度(岩子に第方)時近の威闘におて夜間衛(古志第領相の大字大黒が田田等反「磯の紫色を作るの武勲を聞て言言)

が長中原長反町寺作中尉は第3線、戦戦が第年戦では成第十集戦等費へ販売部隊として変要された反町・超南部隊の政府となり北支中党と

【辞山電話】甘七日陸軍省より庫|軍警備・工官學校に入り同校卒署後

桝尾部隊飯田歩兵中隊(長陸軍

梁瀬部隊(長陸軍大佐梁瀬眞琴)和北

猛烈果散なる攻撃力を強進しあるひは暗夜寒雨を冒しある

戦に移るやわれに関し英山(南縣西北四十二キロ)附近に進出し

)遠に第十五 師治よび第百六十

一師の主力を撃滅す。次いで反轉に

大本營發表

我方の損害軽微なり

里見船舶輸送部隊

二、帝國海軍航空部隊は十二月廿五日夕刻プーゲンビル島北方海面に於て 右機動部隊を捕

バランド島カビニングに 來襲せるも所在部隊之を邀撃し其の二機を襲墜せ

一、十二月廿五日早朝敵機動部隊の艦載機約百

が、來襲の世標を撃墜

島周澤のつが近地で艶く

捉攻撃し、敵艦一隻(艦種不詳)を撃沈せり、我方の損害 未歸還四機

帝國海軍航空部隊は十二月廿五日午前ラバウルに來襲せる 敵機約七十機を邀撃し、

の廿機(内不確實二機)

(東京電話] 松平、岡田貴衆國院

重ねて優渥なる

勅語を賜ふ

胸議長恐懼威激

の御暗意を仰付いられた。この日 られ、御駆跡の思名をもつて 日大本艦屬保護官を宮中に召召

水野軍令部派長、郡本太官、

帝國海軍航空部隊は十二月廿六日早朝マー

ロ島の敵陣は焼野原

中職に勤めて先際軍司令官との威機を受難されたが、今後思くも上版に確さられた軍庁七日十六時陸軍衛

勇戦、惡條件を克服

梁瀬部隊ほか四部隊

【懷意舊舊】本年初夏の江南廣湖に徹において武功改善なりし東京部隊、小柴部隊、甲見船指総会部隊、飯田沙兵中隊とより反配を兵

ず同域迫乏感取組保し、取に拡大な打撃を戦へ肝臓に励をもつて

D中隊長、小隊長泪次いで魔ね、下士官兵の死傷又鷹出するも 屈さ

悪魔院的行魔を襲へ引護を文公山(魔風山東南ナテロ)で流攻

お食殖場國に適進してある

|過別||世よ||戦果|||と||戦局

騰 決戦の意義を强調

部隊を幾先を制して構成をしめ順量山(沙市四南五十四十日)府近

上聞の榮、江南作戰の武功

補陸軍築城部本部長 本部長更迭

墨沼

歴に顧問を表词し、同時にありし酸を含意識がようこ式に酸の遺迹」に解決を賜り今回長くら上面に最 【東京政部】 播族院の薩海軍

対する威謝決策両院の陸海軍に

田村靈祥著

衆議院本會

より本意識を耐くが必要とあらば、何時にても開きする論を強し同四

年一月廿日までを休曹とし廿一日政府順番出際案の遵備の都合上來

貴族院本會議

ることもに軍ねて図過さる映画

美 (南 で関係 これを



























內閣辭令 年記

自分にこんな强い力があらうとは知らなかったと全讀者驚嘆 かったと全讀者驚嘆 おれる人は本書へと きれて演像恋親、選命行例の されて演像恋親、選命行例の されて演像流過。選命行例の されて演像流過。 記事である。

及版 一**圓五十錢** 6剣·川百餘頁

天真道本部 六五五九六 振 替 東 京

絕對的上達法 đ 自間

平安北宣即事

信原

な特殊技法。字で困る 日間でペン毛筆共賞に どんな悪筆でも必ず

方、最短時日で能筆と

柳生繁雄

路経法技達上

を勸む。實驗者皆大喜 希望する方へ是非實習

すばらしい能筆を輝か 十日間の人知れぬ間に 十日間の人知れぬ間に

雞 寮

責絕 任對

現場官吏に責任制

る各種疾患に

カス岬附近の 敵艦船及びピ

計畫は斷乎實行へ 小磯總督 局長會議で 説く

行するのが上気である。意識な

いふことを知った、明確な見遠

朝鲜殖産銀行

職徳衛、田中瀬監臨路の下に開催 - 一時四十分まで第三會職室でか

廿五六の兩日、海鷲の戰鬪經過

要を満版する自と増高を確保す て官定、現場職員の責任制を断年 總督發言內容 養極的に断行すべきである、増高

《內斯亞夫田(鄭帝縣就師奉安部 於 《臺灣 第五(東亞合同木材池長) 並九日發咸熏。此濟方面(*,一 月五日韓城豫定 消 (全北道知事) 東上中

#

推進隊歌

芝養施されてのないが、内地のある。しかも朝鮮の煙草には示

がよく實年の氣病と心臓へをレブ 一人殘らず職場へ起いたことは師

凱練が鮮内墨徒より出席率その他 の成績が良かつたことに魅みで朝 職軍は 反響に 出で重要な高地若 | 去る廿四日甚大なる損害を被つ 軍公果はイタリヤ戦況につき東部 獨軍の反撃熾烈 損害甚大な加軍部隊

長に飼職して敵用暴徒の練成、暴

り、最後に小職總督より軍使志願

れば英第八軍麾下カナダ軍部隊が ると最表した、ドイツ 順報道

東華子園園品(京城)新井県海、木村美湾(大城)町田県房東名丁島屋(「京城)森田県房東名丁島屋(「大栗田県房東名丁島屋(「大栗田県屋里、棚田県店

微彩 木あや子

「能力増殖に整國一登通道レフ ことに離する。洞に戦力増强のわざせ始うたことは個初めての 我ノ攻防艦ミ悉ニッテ戦局 像國民はこの上とも 日の全身全要は密々公勝の信念 有難き聖旨を議會に乗し、われ

第八二四部國際會に親國あらせられ、海棠開院鑑賞に対し信選 年の派遣を移うた。特徴を建高 のこう。原に恐怖感激に基へない 以所語を通じ荷職を大通心を重

堪へ生産ニ動メ舞シクを合く

で國家逻辑の秋であることゆめ

膨々旺盛なるものがある。然し として不拔、國内職務また整日 近暦し姓きものがある。 もとよば 豚人穀類、腹局の筋密速のに の基礎に立つて、破職減の主象

の途こそ實に各々その職域に必

あらう。しかしそれだけに國民

而してこの聖旨に概ふる國民

個の意生いかで整備を安んじ

朝鮮に於いて七千九百萬國から

煙草の値上げ

された。政府が狙ふ國庫収入の

内外地を通じて簡章が値上げ

げに不平をいぶものはないであ

設量優渥なる勅語を拜す

天皇陛下には立

諸官に御陪食

本产图大园、 夏

我方の損害 未歸還二機 とり場所になり場所化す)上大破)上時用舟艇一隻(炎上大破)驅潜艇一隻(炎上大破)上大破)上大破)上時用舟艇一隻(炎上大破)驅潜艇一隻(撃沈概ね確實)

【東京南部】ニニープリテン園ラ | シビル間方面から西方はニューギ | よりラバウル方面に戦の名利な風 るを養める。聖代に生を享くる においてはマーシャル番扇が繋に「古五日早朝に至り数は豫町部駅を呼方面がり言うに中部大平往海域。ラバウルの軍党を企圏してあるが ニャ、ニニープリテン島マーカス

づれにしても、質てないほどの ようで、値上庁に大して驚く気 製的な生活必需品でないことに 一般だと考へても十分納得が出 更にこれを消費税の

なことである。敷配を示す際に **期)**學草樹上で

強縮訓練を 行うた ことは青年の

本子集にも喜ばれる家庭療法です。乗し ・ はりません。 ・ はり 第にかけ | ◆金大羽氏(全北 の成廿八日間任

Ø 日佐々木 香合唱團章 郎 をみな

沿 息 色 販賣元®株式會社玉體商店 財團法人理化學研究所創製

彼みない。 を発身的に たで内分泌各側に を対して をがして をがし をがして をがして をがし をがして をがし をがして をがして をがして をがして をがし をがし をがし をがし をがし をがし をがし をが

水公立水產學校敦徽(47)中等學校敦徽- 接谷川第八 原高部層林陽被敦授公公

原體山東門學校敦授(中) 開門學校敦授(中)

を以上、上屋用所護大型五隻、 大乃至十七隻、海上トラッカ四 大乃至十七隻、海上トラッカ四 龍壓のため、温に企ぶ飯道の取

第女兩性の ホルモン分泌



水、鐵道罷業彈壓 全米の鐵道を政府接收 總學所翻令(中四月) 本科圖 蓋獎 岩雕 在本院頭等官(中)命墨務局爾務 統配 蓋 勅任官ラ以テ待遇セラ

せ給へ0

被高等官一等(各通) 織田智

アイルランド島カビエンが方面に ーカス岬附近ラパウル値にニュー

撃沈破總計 自甘五隻以上上トラツク一隻、上陸用州縣大

我方の損害 撃墜目が

隻、顯潛艇一隻、輸送船八隻、洗

機以上を撃墜

上部隊の收めたる綜合戦果は次の 8いて帝國海軍航空部隊および地

敵に與へたる損害

千二百金山整理

麥作へ地主の協力期待

上改進捗

て石木造船建道本部設置の狙ひは一點が少くながったのであるが、今

一碗で(三)秋州以況に就て、 的たる(1)小規模土地政員事業 土地改良 事実質施の1 農商局長談

新纖維コタイン

新地の経度利用がまだ木光分で

次に秋耕であるが、秋耕一の一覧に施泉を集中し、その運搬

すでは二ケ年、新生者単は今や武然的には東亜の中級活として政治

4般さんと仲間しのスマトラ、アチェの子は第1

元氣なアチェの子供

スマトラ朗信

けばその子供ははなかなか元素。民際さんとは大の仲よしだ。容飛いばその子供ははなかなか元素。民際さんとは大の仲よしだ。容飛が

逐して治安を維持職立し洗濯

米英撃滅の体力

等により総統織地背成地區におけ、畿奥坂戦成一萬三千五百、動勢報発により総統成地背成地區におけ、畿奥坂戦成一萬三千五百、動勢報

の爛/ 好豪銀/ 取華幕

組なの 一顏花





| 新田市 | 1997 日本 | 1997 日

の方や御心配の人 の方や御心配の人 の方や御心配の人

月やく

教育訓練が

高射砲部隊

の重要性

總代會指命制

施實月四

至鮮商議決戰化 ^ 改組

鐵鍋增產查察

一千米以下のものを射つもの。 勞務不足へ對應

低った程に早くなり欧洲に於ては

昂揚へ苦慮

は刻下関係の重要問候であり、題

岩汁工業を整備

生産統合へ軍輛省乗出す

き昭和十九年二月末までにこ本整備は別に道示するものを

で従來にない活別を呈し、各請負して細目家を施めてゐたが、廿八日

制組合、日本館用配氣裝置沒有 內燃機能制組合、東西船用機械能

なつてある 整理性することと、「懸きれるので明生発に顕地から相、参負頭に否申することになづた曖昧戦いに支部を軽性することと、「懸きれるので明生発に顕地から相、意所趣決定象を得て射年早太難くなは地方機構としては地方行政側に必要がの記述に相當の固職を楽して属する件

難によって米國民の反省を促す試

戦力化へ重點配置

國民校修了者の割當 めることとなってある

保を押して慎重協議を進めてゐた

を (談對

髓 資本 浩

小组一组

へ生くなべてを

大

清林

鮮絹織株式會社の一人等が見る。

笑ひの四十八手で押し

春娛樂の

出演 博正ノキマ 彈一第春新竹松

田坂藤佐 飞名前安羽照双

西坂藤住 C名朋安初照及 | 中本野分力の 藝 一本 十五日 寄田 の 黒 葉 代武夫信揚 岩山海山國山

座 治 明 切封系白**日九廿**

水田世萬、鳥を開發 明年度滿洲入植六萬二千 (る 「吟解談所の配化が特に狂目される」以上の脳心熱新なに求人者に関し間は購一員の配化が行ばれてあることなど ダウ年から原生電面報となり、

東亞林業で山鎮祭

▼雛 3少年飛行兵の日配 (六篇) *** 石井 漠 | *** 教人・直理原の三航技中尉と

海鷲にノ

数るべき様を 気質で示した なら

傑 健 作切

大東部造林へとし

美智子女王殿下

戦況は職場で

きのふ 朝見の御儀

集へ海の精鋭

鎭海の観兵式

議場に溢る決戦色

センペ姿の女給仕君も初登場

錬成の成果は歴然

巢立つ學兵を大堀大佐激賞

人雄大佐信意随意徒の背幌な訓練生活の都成果を次の

金基納献機百

平北 ♥割當を悠々突破

日公介之二年十ヲ式 皆其ヲ提十八酸ハ 候ノ以出一年ミ商

大祓について

渡邊 晋 臺灣 医門旁

(大) 日本映 (4) 社 (大) 朝鮮映遊配給社

三本三

と、 华盛 | 平五百萬の

薔薇の花の意匠で有名な

興亞化學工業の力作です

パパイン

多彩光彩彩彩谱 跨昌縣 江海南南坡 快陈秋珠齐〇 [85] 游戏 至不假 潜电风势 [2] 兄弟子让 茅空犹上水流 [2] 宋孙 对自己,"许知自己诸 青街 [3] 阴恒 从八河 频观 [2] 安战 [1] 第一次 [4] 京城 [1] 京 京北 [2] 京城 [2] 宗城 [2]

株 九

Hi \mathbf{x} 弘 會具會

楪 -- 社

#

省區質

研 新 第 工 場

順天の年末警戒師

自我製住旅 東京•丸/内

京城事務所 即城府占市町十二(計算ビル)

名

變

更

上總會ノ決議ニョリ

新社名 弘中:青京城村輔山區線長町二

他理秘士山中にて陽山特派員後Jごくは後を 入っていった。そこにはもう野が高い山々の

猛吹雪もものかは

女、子供も一家總出で薪運び

謹

陸、海軍、情報局脳に東大の

弘

『日韓親韓の夕』は廿七日午後次

と共に益々米英閣城の決獄を国め一つる自合を終へた

佐鮮七萬の華僑

の夕賑ふ

冬休みもあつさり返上

中重工地

職る第二年を自廿萬府民と共に米延藤派の決職街道を開進した大京店の職遇ぶりに目費を

戦ふ京城府政一年の綜合戦果

一部の映画、晶能の重現動に町曹都度の脚新、主要食品末

愛國班側の割當突破は確實

法人側はもう一

府民の戦果

Kと順えたAせて一物でも多 心的 横へ流れる水酒

水登浦署が嚴重警告

重態を秘り

て殉職

隠警察官の華

山並巡查

申認ない。と火と然のる責任製の 日と誰も動物を嫌い

五萬圓の窃盗

驀進一路

區制實施、配給整備、必勝防空

所公園つ

町會

配給

開カン骨の 第カン関が 第二ス機能

な病 0

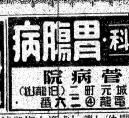














波問子の場合 (ide

(438)



幼い興亞運

木材確保に萬全

第一放送

朝 (版)

W.

理事長渡邊豐日子氏

重要物資管團幹部決る

最後の

巡戦艦シ號英雄的交戦 弾なで



フィンで人機感像「南太平洋の高地

半〇〇基地にて(海軍者昭司蔣第101歳/

たなる年へ決意

一副にれんことを切望してやな

戦爆五機を血祭り

収買既に

九割五分

^{決戰第三年} 與農滿洲磐石

原因を明に

中風·高血壓·神經痛 今津博士の素晴しい
行に

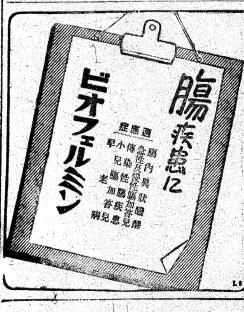
数十ヶ所に必中理

飛行場等軍事施設

,所大爆發、五,所炎上

必至、敵「飛石の大損耗

圖證券株式會社



就· 版大 日本日 京東 元 夏 版 四 社會式将某至單化溶目

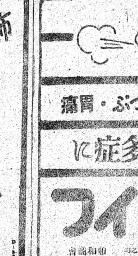
nit:

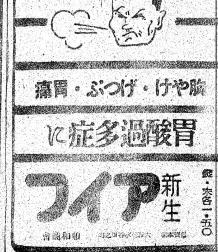
















3 記号

9間蓄配 養

西文門 新漢原植》 **半生活** 服尿器外記 西美術 高 峰 深 初(0)363

生産戦は ・ 生産戦は ・ 大変には ・ 大変に 、 を ・ 大変に ・ 大変に 、 を ・ 大変に 、 大変に 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を を 、 を を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、



英魂永へに安かれ 文岩兵長盛大な告別式

化柳街總蹶起

建物を産業戦士の合宿へ提供

新東手形が失廣告 要報出明日 昭和 大十二十四十二月八日 日和 大十二十四十二月八日 日和 大十二十二月八日 日和 大十二十二月八日

社候間此之贬辩告仕候 組合長,吉本忠七殿二十八日,午前五時死 に生前の 御厚窟を深謝し 此段離 不相叶二十八目 午前五時死去仕繳仰 京城帝大病院に 入院加寮中 十九日午後三時より岩畠町西本願寺川院に於て 本他間齊海茂 一次貢生男鄉



その達しさ先輩の心も晴れん

合には水軍 開で御座の

明治座

のいてある。 いてある。 に関いてある。 に関いてある。 に関いてある。 に関いてある。 に関いてある。

茜

況(其目

相方